

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	戸別所得補償経営安定推進事業費			所属	産業課	
目 名 称	農業振興費											
目の 予算額	70,584					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	890					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111・112	
	前年度当初	0			前年度最終	0		890		0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要があります。このため、国では「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」が策定され、基本的な考え方として経営継承を円滑に行い、特に、土地利用型農業については、今後5年間に高齢化等で大量の農業者が急速にリタイアすることが見込まれる中、それぞれの集落・地域において徹底的な話し合いを通じた合意形成により実質的な規模拡大を図るなど、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」を策定する。

2 事業内容

人・農地マスタープランの策定

- (1) 関係機関の打合せ
- (2) 地域集落における合意形成活動
- (3) マスタープランの作成

人・農地マスタープランの主な内容

- ・青年新規就農者の確保
- ・地域農業の活性化や6次産業化に女性の能力を積極的に活用
- ・農地集積の推進し、将来の担い手の確保
(農地集積は、平地で20ha~30haの土地利用型農業を目指す)
- ・各種資金の支援強化(利息の低減等)

3 予算額

項 目	予算額	説 明
報償費	324	有識者等謝金5,400円×30名×2回
印刷製本費	34	プラン印刷 170円×200冊
消耗品費	392	事務用消耗品(コピー用紙等)
会場使用料	140	2,000円×70箇所
合 計	890	

4 事業の効果

地域での話し合いに基づき、地域の中心となる経営体を定め、その経営体に農地の集積を推進し、土地利用型農業の規模拡大を図る。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	6	項	1	目	3	細事業名	農業振興地域整備計画費			所属	産業課	
目 名 称	農業振興費											
目の 予算額	70,584					財 源 内 訳						
予 算 額	3,780					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112	
	前年度当初	0 前年度最終			0					3,780	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農地は、農業生産にとって、最も基礎的な資源であることから、農振法に基づく農業振興地域制度及び農地法に基づく農地転用許可制度の適正な運用を通じ、集団的農地の確保に努めるとともに、耕作放棄地の発生防止や再生を図ることとし農用地等の確保に努める。旧町単位での計画を整備し一本化を図り管理の一元化に務める。

2 事業内容

白石町農業振興地域整備計画の総合見直しに必要となる業務を委託

(1)事業実施期間

平成24年度～平成26年度

(2)業務内容

平成24年度

- ・基礎調査
- ・基礎資料作成

平成25年度

- ・基本方針(案)及び土地利用変更(案)作成
- ・整備計画書(案)作成

平成26年度

- ・GISシステム拡張

3 予算額

白石町農業振興地域整備計画書策定業務委託 3,780 千円

4 事業の効果

優良農地を確保・保全しながら、農業振興のための各種施策を計画的に実施することで本町農業の総合的な振興を図ることができる。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費			所属	産業課
目 名 称	米政策対策費										
目の予算額	23,122					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	13,115					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113
	前年度当初	19,241	前年度最終	15,721			10,088			3,027	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	--	--	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

集落営農組織や認定農業者などの担い手に対し、革新技術の導入を支援し、売れる米・麦・大豆づくりを一層進めることにより、水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図る。

2 事業内容

水田農業の担い手が取り組む省力化、低コスト化のための新技術の導入に必要な機械・施設等の整備に対する助成を行う。

3 予算額

地区	事業実施主体名	事業内容	台数	能力等	事業費内訳			
					事業費	県費	町費	実施主体
六角	六角営農組合(吉村)	トラクターカルチ	1	2連	950	250	75	625
有明干拓	5A集落営農組合	農業用機械倉庫	1	130m ²	9,000	3,000	900	5,100
北有明	弥築集落営農組合	大豆不耕起播種機	2	2条	1,638	546	164	928
北有明	一の笹営農組合	大豆不耕起播種機	2	2条	1,638	546	164	928
北有明	二の笹営農組合	大豆不耕起播種機	1	2条	819	273	82	464
白石	福田南(FM会)営農組合	大豆コンバイン	1	38PS	8,143	2,350	705	5,088
白石	白石西部営農組合	大豆コンバイン	1	38PS	8,143	2,350	705	5,088
竜王	竜王地区営農組合(古賀)	大豆不耕起播種機	1	2条	819	273	82	464
須古	須古南部地区営農組合(久治・湯崎)	トラクターカルチ	2	2連	1,899	500	150	1,249
					33,049	10,088	3,027	19,934

※補助率

県:1/3以内

町:1/10以上

※標準事業費

大豆コンバイン:7,050千円

トラクターカルチ:750千円

農業用機械倉庫:9,000千円

4 事業の効果

本町水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図ることができる。

単位：千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	6	項	1	目	5	細事業名	農業者戸別所得補償制度推進事業費		所属	産業課	
目 名 称	米政策対策費										
目の 予算額	23,122					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	10,007					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113
	前年度当初	0			前年度最終	0		9,073		934	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 目的

農業者戸別所得補償制度の実施に伴い、水田農業推進協議会・担い手育成総合支援協議会の機能を併せて「農業再生協議会」が設置された。農業再生協議会を中心に、農業者戸別所得補償制度の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図るとともに、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等の取り組みを促進する。

2 事業内容

白石町農業再生協議会が行う次に掲げる業務への助成
協議会の主な業務

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| (1) 米の所得補償交付金、米価変動補てん交付金の推進 | (5) 集落営農の法人化支援 |
| (2) 畑作物の所得補償交付金の推進 | (6) 対象作物の生産数量目標の設定 |
| (3) 水田活用の所得補償交付金の推進 | (7) 耕作放棄地の再生利用 |
| (4) 規模拡大加算、再生利用加算の推進 | (8) 担い手の育成・確保 |

3 予算額

・戸別所得補償制度推進事業費補助金 10,007千円（事業主体：白石町農業再生協議会）

【積算基礎】

区 分	金 額	左のうち補助事業分	説 明
委員報償	1,002	1,002	協議会等委員報償費
事務等経費	2,654	2,107	消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃借料
賃金	1,464	1,464	日々雇用職員賃金
委託料	4,813	4,500	申請書類等の配布、回収・転作確認確認事務委託
助成金等	74	0	
合 計	10,007	9,073	

4 事業の効果

米の需給調整、転作物の定着を推進し地域農業の基幹となる水田農業の健全な発展につながる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	06	項	01	目	02	細事業名	新規就農総合支援事業			所属	産業課
目 名 称	農業総務費										
目の予算額	122,518					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	15,125					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	110・111
	前年度当初	0			前年度最終	0		15,095		30	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農総合支援事業を推進する。

2 事業内容

○青年就農給付金(経営開始型)

- ・地域農業マスタープランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者(単なる親元就農は対象外)について、年間150万円を給付する。
- ・平成24年度以降就農者には、最長5年間給付。(所得が250万円以上ある場合は給付しない)
- ・平成20年度～23年度に就農した者(既就農者)についても、平成24年度以降3年間は150万円を給付する。

3 予算額

単位:円

区 分	内 容	予 算 額
11. 需用費		125,000
消耗品費	事務用消耗品(一般財源)	30,000
印刷製本費	資料等印刷費 300冊×300円×1.05=94,500円	95,000
19. 負担金、補助及び交付金	青年就農給付金(経営開始型)	15,000,000
補助金	・既就農者分 平成20年度～23年度新規就農者 64人×10%≒7人×150万円	10,500,000
	・新規就農者分 3人×150万円	4,500,000
合 計		15,125,000

4 事業の効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	06	項	01	目	03	細事業名	スクミリンゴガイ駆除対策事業			所属	産業課	
目 名 称	農業振興費											
目の 予算額	70,584					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,740					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112	
	前年度当初	0			前年度最終	0		1,740		0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

このスクミリンゴガイ(通称:ジャンボタニシ)駆除対策については、平成17年度~18年度において実施をし、天敵であるすっぽんを放流した結果、被害が縮小に向かっていたところである。
しかしこのところ、釣り人によるすっぽんの捕獲が増加し、生息数も減少しているものと思われ、スクミリンゴガイの水稻食害が再び増加傾向にある。このため、不正薬剤の使用防止、環境美化保全の観点も含め、駆除目的でのすっぽん購入に補助することで、被害の縮減を図る。

2 事業内容

- 生産組合など農業集団に調査を行い、被害がある地域あるいは希望する団体の水路にすっぽんの放流を行う。
- 放流時期 8月~10月
- 放流見込み数 1,000匹
- すっぽん捕獲禁止看板を6基設置

3 予算額

区 分	内 容	内 訳			予 算 額
11.需用費 消耗品費	すっぽん購入費	見込み放流数 1,000匹	×	単価 1,500円	= 1,500,000円
	すっぽん捕獲禁止看板	設置数 6基	×	単価 40,000円	= 240,000円
合計					1,740,000円

4 事業の効果

当該事業を実施することにより、スクミリンゴガイを駆除することにより、水稻への食害を減少させ、収量の確保、品質向上を目指す。

単位:千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	06	項	01	目	03	細事業名	さかの強い園芸農業確立対策事業費			所属	産業課
目 名 称	農業振興費										
目の予算額	70,584					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	53,942					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112
	前年度当初	76,162	前年度最終	67,166			42,222			11,720	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

- 1 目的
近年の重油・肥料等の価格高騰に伴う生産コストの上昇、農業者の高齢化の進行による農業従事者数の減少や生産力低下など農業を取り巻く情勢が大きく変化している中で、今後、本町園芸農業が持続的に発展していくためには、石油燃料に過度に依存しない園芸生産や減農薬・減化学肥料の取組を更に発展させた「省資源・環境保全型の園芸生産の取組拡大」や、新規園芸農家の育成、集落営農と連携した園芸生産、更には契約取引の拡大などの「新たな園芸生産の取組拡大」などを推進し「さかの強い園芸農業」を確立していくことが必要である。このため、本事業において、省資源・環境保全型の園芸生産の取組拡大や新たな園芸生産の取組拡大に必要な機械・施設等の整備を推進する。
- 2 事業内容
○ 事業主体 任意組合、農業協同組合、農業者、農業法人 等 ○ 事業期間 平成21年度～25年度(5年間)
○ 補助率 県1/3以内、町1/10以上 ※高機能ハウスの整備促進は、県4/10以内、町1/10以上
- 3 予算額 ※省エネ推奨対策(脱石油・省石油対策)への取組は、県1/2以内、町1/10以上
【事業主体数 29組合(又は人)】 (単位:千円)

事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	事業費	事業費の財源内訳			備考
						県費補助金	町費	事業主体	
園芸ハウス長寿命化対策	いちご	12	219.4	21,942m ²	19,200	6,400	1,920	10,880	
脱石油・省石油対応ハウス	いちご	1	17.2	1,728m ²	8,000	4,000	800	3,200	省エネ推奨対策
猛暑対応ハウス	アスパラ・こねぎ	4	31.1	3,114m ²	21,600	8,640	2,160	10,800	高機能ハウス
二重カーテン	いちご	1	15.6	1,566m ²	1,200	600	120	480	省エネ推奨対策
循環扇	いちご・胡瓜	2	30.0	25台	1,250	625	125	500	省エネ推奨対策
根域制限栽培施設	みかん	1	7.3	7a	1,332	444	134	754	
除湿乾燥システム	玉葱	3	1,400.0	4台	5,016	1,612	484	2,920	
選別・調整機	玉葱	1	320.0	1台	546	182	55	309	
全自動移植機	玉葱	20	2,840.0	4台	18,462	6,152	1,847	10,463	
定植機	玉葱・キャベツ	18	2,440.0	8台	11,127	3,707	1,114	6,306	
播種機	玉葱	15	1,960.0	3台	3,487	1,161	349	1,977	
収穫機	玉葱	25	1,905.0	7台	9,078	3,025	909	5,144	
乗用管理機	玉葱	10	1,080.0	1台	3,570	1,190	357	2,023	
乗用防除機	玉葱	8	1,698.0	4台	10,865	3,621	1,087	6,157	
省力防除機	玉葱	2	260.0	1台	940	313	94	533	
野菜運搬車	キャベツ	5	220.0	3台	1,650	550	165	935	
合 計		128	14,443.6		117,323	42,222	11,720	63,381	

- 4 事業の効果
本町の農業生産所得は、園芸作物の出来不出来で大きく左右されることから、本事業を推進することによりしろいし農業の発展に寄与することができる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	06	項	01	目	06	細事業名	繁殖雌牛導入事業費補助金		所属	産業課	
目 名 称	畜産業費										
目の予算額	3,735					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	1,450					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114
	前年度当初	1,450	前年度最終	1,450					1,450	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

景気後退による消費低迷や安価な輸入牛肉の流通により、牛肉の市場取引価格が下落し、併せて飼料穀物の値上がりによる飼料価格の高騰により、町内畜産農家は、繁殖雌牛の更新又は増頭が困難となっていることから、繁殖雌牛を町内保留・更新又は導入し、繁殖雌牛頭数の維持又は増頭を図ることにより、町内素牛の確保と畜産農家の経営基盤を強化する。

2 事業内容

(事業期間)

○平成22年～平成24年度(3年間)

(対象要件)

○町内畜産農家で繁殖雌牛を保留、又は購入により更新・増頭する者
○対象牛を導入時より5年間飼育する者

(補助金)

○保留については、対象牛1頭当たり20,000円以内
○更新や増頭のための購入については、対象牛1頭当たり導入価格の1/10以内(上限50,000円)

(事業主体)

○佐賀県農業協同組合

3 予算額

保 留 分	10 頭	×	20,000 円	/1頭当たり	=	200,000 円	
購 入 分	25 頭	×	50,000 円	/1頭当たり	=	1,250,000 円	(購入分については、導入価格を1頭当たり500,000円で試算)
						1,450,000 円	

4 事業の効果

町内繁殖雌牛の維持、増頭により、畜産農家の経営基盤の強化と経営の安定が図られる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円															
款	7	項	1	目	1	細事業名	まちの元気づくりプロジェクト支援事業			所属	産業課										
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳					予算書頁										
目 の 予 算 額	108,518					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127										
予 算 額	1,500										新規										
	前年度当初	0			前年度最終	0															
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 2 節	商工業の振興												
<p>1 目的 町内商店街の空き店舗等を有効活用し、地域活性化を図るため、白石町商工会が取り組んでいる「まちの元気づくりプロジェクト(商店街再生・改造)」事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、町民の世代間交流・文化・教養等の多様な活動の拠点として開設された“元気のみまご”を地域コミュニティづくりに貢献させ、商店街活性化と商工業の振興及び地域振興に資する。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちの元気づくりサポーター設置事業</td> <td>元気のたまごに常駐させる臨時職員を雇用し「まちの元気づくりプロジェクト事業」を支援させる ・商店街の店舗案内 ・商店街内の買い物代行 ・商店街組織化推進 ・まちの元気づくりイベント企画運営 ・いこカー活用支援 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 予算額 まちの元気づくりプロジェクト支援事業補助金 1,500千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象経費の内訳</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費(賃金・保険等) 2,123千円</td> <td rowspan="3">補助対象経費の4分の3以内1,500千円を限度とする</td> </tr> <tr> <td>イベント等開催費 240千円</td> </tr> <tr> <td>合 計 2,363千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業の効果 町内商店街の空き店舗が交流の場として活用されるとともに、消費者の利便性が図られる。また、商店街の組織化を推進することで、商工業者の意識向上が図られ、新たな事業活動が生まれ、商店街の活性化に寄与する。</p>												事 業 名	内 容	まちの元気づくりサポーター設置事業	元気のたまごに常駐させる臨時職員を雇用し「まちの元気づくりプロジェクト事業」を支援させる ・商店街の店舗案内 ・商店街内の買い物代行 ・商店街組織化推進 ・まちの元気づくりイベント企画運営 ・いこカー活用支援 等	対象経費の内訳	補助率	人件費(賃金・保険等) 2,123千円	補助対象経費の4分の3以内1,500千円を限度とする	イベント等開催費 240千円	合 計 2,363千円
事 業 名	内 容																				
まちの元気づくりサポーター設置事業	元気のたまごに常駐させる臨時職員を雇用し「まちの元気づくりプロジェクト事業」を支援させる ・商店街の店舗案内 ・商店街内の買い物代行 ・商店街組織化推進 ・まちの元気づくりイベント企画運営 ・いこカー活用支援 等																				
対象経費の内訳	補助率																				
人件費(賃金・保険等) 2,123千円	補助対象経費の4分の3以内1,500千円を限度とする																				
イベント等開催費 240千円																					
合 計 2,363千円																					

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	産業課	
目 名 称	商工振興費						財 源 内 訳					
目 の 予 算 額	108,518					予 算 書 頁						
予 算 額	4,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127	
	前年度当初	4,300	前年度最終	4,800						4,300	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

本町の産業振興及び経営の安定を図り、近年の激化する産地間競争に打ち勝つため、特産品のPR活動を行い、「しろいしブランド」の名と産物の良さを広め、本町産物の有利販売に向けた施策を講じる。

2 事業内容

- (1) 協議会事業活動……PR推進用オリジナル販促品等製作 県人会、町人会等PR産物代、しろいしみのりちゃんPR活動費
- (2) 産物消費宣伝活動……物産販売活動及び販売促進活動支援
- (3) 米消費拡大対策事業……しろいしべったんご祭、歌垣ロードレース、小中学校における米消費拡大宣伝活動
- (4) 消費地との交流事業……農業体験及び地域資源を活用した消費者との交流
- (5) 特産品加工開発事業……特産品を使った新たな加工品開発、既存加工品の販路開拓事業への補助

事業主体 白石町特産物PR推進協議会

3 予算額

しろいしブランド確立対策事業補助金 4,300千円

- (1) 協議会宣伝活動 500千円
- (2) 産物消費宣伝活動 1,340千円
- (3) 米消費拡大対策事業 960千円
- (4) 消費地との交流事業 1,000千円
- (5) 特産品加工開発事業 500千円

4 事業の効果

事業目的の推進を図るため白石町特産物PR推進協議会を設立し、町・農協・商工会・漁協その他関係機関との連携が図られ、特産物等の消費宣伝活動が推進される。また、消費者との交流事業においては、農業体験等を通し、本町のPR及びレンコン等白石産農産物の消費宣伝が図られる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																																																																																							
款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業			所属	産業課																																																																																		
目 名 称	観光費																																																																																												
目の予算額	33,272					財 源 内 訳					予算書頁																																																																																		
予 算 額	6,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129																																																																																		
	前年度当初	6,200	前年度最終	6,200				3,000	3,200	継 続																																																																																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出																																																																																					
<p>1 目的 町民の融和と地域の活性化を目的に、白石町の自然や特産品を活用しイベントを企画、実施するまちおこし運営委員会に対し補助する。またイベントを通じ観光資源の維持・保存、環境美化、緑化推進などの啓発にもつながる。</p> <p>2 事業内容 委員会の事業経費については町、農協、商工会、町内4漁協の補助金・協賛金及びその他団体等からの協賛金を充て、事業の実施については、出資団体はもとより、町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体及び個人の参加を呼びかけ、町民総参加による事業の実施を促す。</p> <table border="0"> <tr> <td>◆ 春期イベント(歌垣春まつり)</td> <td>1,300,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ 夏期イベント(夏まつり)</td> <td>2,716,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ 秋期イベント(べったんこ祭)</td> <td>3,600,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ 振興事業助成、事務費等</td> <td>250,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年度まちおこし事業予算(案)</td> <td>7,866,000</td> <td>円</td> <td></td> <td>白石町まちおこし運営委員会予算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ 杵藤地区広域圏補助金</td> <td>618,000</td> <td>円</td> <td></td> <td>24年度予定額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ 団体協賛金等(民負担)</td> <td>540,000</td> <td>円</td> <td></td> <td>23年度実績額 (農協・漁協・商工会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◆ その他収入</td> <td>508,000</td> <td>円</td> <td></td> <td>米消費補助・メッセージ花火収入他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年度まちおこし事業補助金</td> <td>6,200,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>事業主体 白石町まちおこし運営委員会</p> <p>3 予算額 まちおこし事業補助金 6,200,000円</p> <p>4 事業の効果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春まつり</td> <td>約2,000名</td> <td>雨天中止</td> <td>約10,000名</td> <td>約9,000名</td> <td>約8,500名</td> <td>約5,000名</td> </tr> <tr> <td>夏まつり</td> <td>約7,000名</td> <td>約8,000名</td> <td>約8,500名</td> <td>約9,000名</td> <td>約8,500名</td> <td>約9,000名</td> </tr> <tr> <td>秋まつり</td> <td>台風被害中止</td> <td>約18,000名</td> <td>約18,500名</td> <td>新型インフルエンザ中止</td> <td>約15,000名</td> <td>約16,000名</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業関係者においては、事業の計画・実施をとおした交流による融和が図られ、異業種において新たな協力による展開も望まれる。また、イベント来訪者には本町の観光、産物のPRに寄与する。</p>												◆ 春期イベント(歌垣春まつり)	1,300,000	円				◆ 夏期イベント(夏まつり)	2,716,000	円				◆ 秋期イベント(べったんこ祭)	3,600,000	円				◆ 振興事業助成、事務費等	250,000	円				平成24年度まちおこし事業予算(案)	7,866,000	円		白石町まちおこし運営委員会予算		◆ 杵藤地区広域圏補助金	618,000	円		24年度予定額		◆ 団体協賛金等(民負担)	540,000	円		23年度実績額 (農協・漁協・商工会)		◆ その他収入	508,000	円		米消費補助・メッセージ花火収入他		平成24年度まちおこし事業補助金	6,200,000	円					18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	春まつり	約2,000名	雨天中止	約10,000名	約9,000名	約8,500名	約5,000名	夏まつり	約7,000名	約8,000名	約8,500名	約9,000名	約8,500名	約9,000名	秋まつり	台風被害中止	約18,000名	約18,500名	新型インフルエンザ中止	約15,000名	約16,000名
◆ 春期イベント(歌垣春まつり)	1,300,000	円																																																																																											
◆ 夏期イベント(夏まつり)	2,716,000	円																																																																																											
◆ 秋期イベント(べったんこ祭)	3,600,000	円																																																																																											
◆ 振興事業助成、事務費等	250,000	円																																																																																											
平成24年度まちおこし事業予算(案)	7,866,000	円		白石町まちおこし運営委員会予算																																																																																									
◆ 杵藤地区広域圏補助金	618,000	円		24年度予定額																																																																																									
◆ 団体協賛金等(民負担)	540,000	円		23年度実績額 (農協・漁協・商工会)																																																																																									
◆ その他収入	508,000	円		米消費補助・メッセージ花火収入他																																																																																									
平成24年度まちおこし事業補助金	6,200,000	円																																																																																											
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度																																																																																							
春まつり	約2,000名	雨天中止	約10,000名	約9,000名	約8,500名	約5,000名																																																																																							
夏まつり	約7,000名	約8,000名	約8,500名	約9,000名	約8,500名	約9,000名																																																																																							
秋まつり	台風被害中止	約18,000名	約18,500名	新型インフルエンザ中止	約15,000名	約16,000名																																																																																							

単位:千円

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計							
款	7	項	1	目	2	細事業名	白石町情報発信事業			所属	産業課
目 名 称	観光費										
目の予算額	33,272					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	21,105					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129
	前年度当初	15,000	前年度最終	13,480			21,105			0	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 3 節	観光の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	-------

1 目的

白石町の観光、歴史的資産、特産品、人物等を活用し、その情報をラジオで情報発信することで観光客の増加を促し町産業の振興と活性化を図る。また、佐賀県緊急雇用創出基金事業(震災等緊急雇用対応事業)を活用し、失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業を実施し、これらの者の生活の安定を図る。

2 事業内容

事業名	内 容	事業費	新規雇用者	雇用日数	実施予定時期	実施方法	事業担当課
白石町情報発信事業	県の緊急雇用創出事業を活用しラジオ放送を利用した白石町の魅力発掘番組の制作・運営を委託事業により行い情報発信する。	21,105	4	960	4月～3月	委託	産業課

委託先 放送事業者

3 予算額

委託料 21,105千円
 内訳 人件費(賃金・保険等) 10,437千円
 ラジオ放送経費 7,605千円
 事務経費 720千円
 車両費 968千円
 諸経費 370千円
 消費税 1,005千円

4 事業の効果

白石町を広くPRすることができ、観光客の増加が見込まれ町産業振興が図られる。また、町民にとっても合併後の白石町を再認識する機会が得られるとともに、隠れた観光資源や人的資源が確保できる。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						単位:千円																																																																															
款	6	項	1	目	7	細事業名	筑後川下流土地改良事業推進事業費				所属	農村整備課																																																																														
目 名 称	農地費											予算書頁																																																																														
目の予算額	470,163						財 源 内 訳					115・116・117・118																																																																														
予 算 額	10,288						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	継 続																																																																														
	前年度当初			前年度最終			2,255				8,033																																																																															
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節		農林水産業の振興																																																																														
1 目的																																																																																										
<p>白石平野の農業にとって永年の課題となっていた農業用水の不足を解消し、地下水依存から地表水への転換を図ることにより、地下水過剰採取による地盤沈下を解消し、併せて農業の機械化、近代化を図る。 また、本年度から開始される嘉瀬川ダムの試験通水に向けて、円滑な配水体制の確立を図るとともに問題点等を検証し、本格稼働後の管理体制を確立する。</p>																																																																																										
2 事業内容																																																																																										
<p>① 事業実施において発生する、諸々の行政需要に対応するため、嘱託職員を配置する。 ② 佐賀・福岡両県をまたがる数市町を事業地域とする広域土地改良事業であるため、国、県、他の市町及び関係諸団体との連携を図り、事業の円滑な推進を図る。 ③ 新たな水源開発のため水没する嘉瀬川ダム周辺地域の振興を図る。 ④ 新たな配水体系確立のための既存施設の緊急的な補修、及び用水施設の管理方法の習熟等を推進するための土地改良区への助成及び連携の強化。 1) 新たな配水についての地元説明や協議、調整に要する経費に対する助成 ……1/2以内 2) 配水に不測の事態が生じた場合の施設の応急的な補修、及びこれらに伴う揚水経費の増嵩に対する助成 ……10/10以内 3) 上記2)の場合において、深井戸による揚水を行った場合の経費に対する助成 ……1/3以内 ⑤ 事業完了により発生する土地改良事業(基幹施設管理事業)の開始のための、農家説明、同意取得等の法的手続き。</p>																																																																																										
3 予算額																																																																																										
<table border="0"> <tr> <td>① 賃金</td> <td>2,255 千円 (国庫負担対象)</td> <td></td> <td>2,255 千円</td> </tr> <tr> <td>② 佐賀県筑後川土地改良事業推進協議会負担金</td> <td>4,203 千円</td> <td>筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会負担金</td> <td>410 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,613 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 嘉瀬川ダム協力会の事業を継承して実施する新たな組織負担金</td> <td>120 千円</td> <td></td> <td>120 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 配水体制確立補助金</td> <td>3,200 千円</td> <td></td> <td>3,200 千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 農家説明資料作成</td> <td>50 千円</td> <td>通水記念式典費</td> <td>50 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="11"></td> <td>計</td> <td>10,288 千円</td> </tr> </table>													① 賃金	2,255 千円 (国庫負担対象)											2,255 千円	② 佐賀県筑後川土地改良事業推進協議会負担金	4,203 千円	筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会負担金	410 千円									4,613 千円	③ 嘉瀬川ダム協力会の事業を継承して実施する新たな組織負担金	120 千円											120 千円	④ 配水体制確立補助金	3,200 千円											3,200 千円	⑤ 農家説明資料作成	50 千円	通水記念式典費	50 千円									100 千円												計	10,288 千円
① 賃金	2,255 千円 (国庫負担対象)											2,255 千円																																																																														
② 佐賀県筑後川土地改良事業推進協議会負担金	4,203 千円	筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会負担金	410 千円									4,613 千円																																																																														
③ 嘉瀬川ダム協力会の事業を継承して実施する新たな組織負担金	120 千円											120 千円																																																																														
④ 配水体制確立補助金	3,200 千円											3,200 千円																																																																														
⑤ 農家説明資料作成	50 千円	通水記念式典費	50 千円									100 千円																																																																														
											計	10,288 千円																																																																														
4 事業の効果																																																																																										
<p>事業開始から30数年を経過し、平成24年の水稻から通水が可能となる。本事業により新たな水利慣行の確立や、今後の維持管理事業の開始に向けた円滑な対応ができる。</p>																																																																																										

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																							
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費		所属	農村整備課																				
目 名 称	農地費																													
目の 予算額	470,163					財 源 内 訳				予算書頁																				
予 算 額	37,320					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・116																			
	前年度当初	0 前年度最終			33,080					37,320	継 続																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																					
<p>1 目的</p> <p>基幹的な農業水利施設については、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。これらの施設は、その耐用年数の経過とともに、維持管理コストの増高や施設の機能の低下が懸念されている。コストの最小化を図り財政負担の平準化を行うとともに施設の長寿命化を図るため、ストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設を、計画的に整備し将来的に機能を維持するため、実施計画書に基づき順次整備する。</p> <p>○国営筑後川下流土地改良事業により造成された施設</p> <p>①県営事業により実施中のもの</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> 有明1号排水機場： 有明2号排水機場： 有明3号排水機場： </td> <td style="width: 30%; vertical-align: middle;">} ポンプ・エンジン・電気設備・除塵機等の部品の交換・補修・整備</td> <td style="width: 10%; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 10%;"> 実施期間：平成23年度～27年度 全体事業費：483,000千円 23年度までの進捗予定：41% </td> </tr> </table> <p>②設置事業者(九州農政局)により保全計画策定中のもの</p> <p>有明水路及び有明支線水路：水路構造物、水路本体</p> <p>○県営堰水防除事業及び県営水田農業確立排水対策特別事業により造成された施設</p> <p>③設置事業者(県)により保全計画策定が完了し施設管理者(町)が実施計画を策定するもの</p> <p>八平第1排水機場、八平第2排水機場、六府方排水機場</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"> 保全計画：平成23年度 実施計画：平成24年度(25年度採択申請) </td> </tr> </table> <p>3 予算額</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">委託料</td> <td style="width: 15%;">5,100,000円</td> <td style="width: 15%;">(実施計画策定委託料 全額町費 ③の事業分)</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>161,100,000円 × 20%</td> <td>= 32,220,000円</td> <td>(県営ストックマネジメント事業白石沿岸地区負担金 ①の事業分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)</td> </tr> </table> <p>4 事業の効果</p> <p>計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。</p>											有明1号排水機場： 有明2号排水機場： 有明3号排水機場：	} ポンプ・エンジン・電気設備・除塵機等の部品の交換・補修・整備	}	実施期間：平成23年度～27年度 全体事業費：483,000千円 23年度までの進捗予定：41%				保全計画：平成23年度 実施計画：平成24年度(25年度採択申請)	委託料	5,100,000円	(実施計画策定委託料 全額町費 ③の事業分)		負担金	161,100,000円 × 20%	= 32,220,000円	(県営ストックマネジメント事業白石沿岸地区負担金 ①の事業分)		(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)		
有明1号排水機場： 有明2号排水機場： 有明3号排水機場：	} ポンプ・エンジン・電気設備・除塵機等の部品の交換・補修・整備	}	実施期間：平成23年度～27年度 全体事業費：483,000千円 23年度までの進捗予定：41%																											
			保全計画：平成23年度 実施計画：平成24年度(25年度採択申請)																											
委託料	5,100,000円	(実施計画策定委託料 全額町費 ③の事業分)																												
負担金	161,100,000円 × 20%	= 32,220,000円	(県営ストックマネジメント事業白石沿岸地区負担金 ①の事業分)																											
	(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)																													

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課
目 名 称	農地費										
目の予算額	470,163					財 源 内 訳					
予 算 額	27,669					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・116・117
							14,350		2,255	11,064	継 続
前年度当初 21,692			前年度最終 56,042								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			
1 目的											
<p>町や土地改良区が管理する農業水利施設は、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。これらの施設は、その耐用年数の経過とともに、腐食などによる施設の劣化や操作性の低下が懸念されている。コストの最小化を図り財政負担の平準化を行うとともに施設の長寿命化を図るため、ストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を行う。</p>											
2 事業内容											
<p>町が管理する幹線水路の制水門等構造物を、計画的に整備し将来的に機能を維持する。</p> <p>国 55% 県 15% 町 30% (事業費の10%は土地改良負担)</p> <p>白石土地改良区が管理する用排水路・揚水機などのストックマネジメント事業に係る経費を助成する。</p>											
3 予算額											
<p>需用費 50 千円 使用料及び賃借料 56 千円 工事請負費 22,550 千円 制水門 5カ所 ・ 揚水機 1カ所 を整備予定 負担補助及び交付金 5,013 千円</p> <p>内 訳</p> <p>土地改良連合会賦課金(補助対象事業費の2.5%) 20,500,000円×2.5%=512,500円 土地改良区主体の事業に対し土地改良区負担分の1/2を補助する。 30,000,000円×30%×1/2=4,500,000円</p>											
4 事業の効果											
<p>施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。</p>											

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																			
款	6	項	1	目	7	細事業名	県営地域水田農業支援緊急整備事業費	所属	農村整備課																	
目 名 称	農地費																									
目の 予 算 額	470,163					財 源 内 訳																				
予 算 額	13,510					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・116															
	前年度当初	22,510	前年度最終	89,435				7,500	6,010	継 続																
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																	
1 目的	<p>平成16年より始まった新たな米政策では、消費者の求める品質を安価で供給し、生産者がつくる喜びを感じながら、生産を安定的に行える米づくりが求められており、具体的には売れる米、麦、大豆づくりの推進と産地づくりの推進が主眼におかれております。本町では地域水田農業ビジョンを策定し、地域農業の振興と将来にわたり地域農業を支える担い手の育成を急務の課題とし土地利用の団地化、作物の計画生産、安全安心システムの構築などを進める必要があります。白石地区では昭和51年頃より県営圃場整備事業が行われ、管内全ての地区が完了し、米を主体に玉葱、麦など土地利用型作物が振興されてきました。しかしながら20年以上を経過した農地ではモミ殻の腐食、不等沈下などによって排水不良の圃場が見受けられるようになってきております。このようなことから緊急的な暗渠排水施設整備事業によって水田の排水不良箇所を解消し、農業生産性の向上と担い手農家の経営規模拡大を支援するものである。</p>																									
2 事業内容	<p>地域水田農業支援緊急整備事業(緊急整備型) コルゲート管φ50mm 被覆材ボラ土 標準 1本/10a h=60cm</p> <p>県営地域水田農業支援緊急整備事業に対する市町村負担金 負担割合：国50% 県27.5% 町10% 受益者12.5%</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">白石地区</td> <td style="width: 20%;">暗渠排水整備</td> <td style="width: 20%;">50ha(全体1,603ha)</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>負担金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60,000千円</td> <td>13,500千円</td> <td>町</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地元</td> <td>7,500千円</td> </tr> </table>										白石地区	暗渠排水整備	50ha(全体1,603ha)		事業費	負担金			60,000千円	13,500千円	町	6,000千円			地元	7,500千円
白石地区	暗渠排水整備	50ha(全体1,603ha)																								
事業費	負担金																									
60,000千円	13,500千円	町	6,000千円																							
		地元	7,500千円																							
3 予算額	<p>県営地域水田農業支援緊急整備事業負担金 13,500千円 事務費(消耗品費) 10千円</p>																									
4 事業の効果	<p>暗渠排水施設整備によって、水田の排水不良が解消され担い手への農地の集積と連担性が高められ地域水田農業ビジョンの目標達成が図られる。 受益農地面積1,603ha、受益戸数1,859戸</p>																									

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																								
款	6	項	1	目	7	細事業名	県営地域水田農業再編緊急整備事業費	所属	農村整備課																					
目 名 称	農地費																													
目の予算額	470,163					財 源 内 訳				予算書頁																				
予 算 額	9,122					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・116																			
	前年度当初	8,672	前年度最終	49,822			4,000		5,000	122	継 続																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																						
1 目的	<p>当地区の水田は、昭和51年～平成9年に県営圃場整備事業、県営土地改良総合整備事業が実施され、その際、転換耕地化を図るために、暗渠排水 施設が敷設されているが、現状の水田は恒常的な排水不良から湿田状態である。当地区においては水稻の裏作として、麦類の栽培が大規模に行われている。しかし、非かんがい期に降った雨によって圃場が湿ると、排水不良から湿潤状態が数日間続き、裏作物の生育に悪影響を及ぼしている。土壌がなかなか乾燥せず、またその結果、農作業機械が乗り入れられず、転作物の積極的な導入や、計画的な農作業が困難な状況にある。当時敷設した暗渠排水はモミガラが被覆材として利用され、田畑輪換による乾燥、湿潤が繰り返され、圃場では腐食、断面縮小により疎水材がほぼ10年程度で腐食し、掘削してみても現状はその存在がほとんど確認できず、配水管周りの土壌は粘質状である。本事業において、水田の暗渠排水施設の整備を行うことで、水田の湿田化を解消し、転作物の導入が可能となる高度な転換耕地化を図る。</p>																													
2 事業内容	<p>地域水田農業再編緊急整備事業(緊急整備型) コルゲート管φ50mm 被覆材ボラ土 標準 1本/10a h=60cm</p> <p>県営地域水田農業再編緊急整備事業に対する市町村負担金 負担割合：国50% 県27.5% 町10% 受益者12.5%</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">杵島南部地区</td> <td style="width: 20%;">暗渠排水整備</td> <td style="width: 20%;">33ha(全体1,603ha)</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>負担金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40,000千円</td> <td>9,000千円</td> <td>町</td> <td>4,000千円</td> <td>(町負担分は、県が負担)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地元</td> <td>5,000千円</td> <td></td> </tr> </table>										杵島南部地区	暗渠排水整備	33ha(全体1,603ha)			事業費	負担金				40,000千円	9,000千円	町	4,000千円	(町負担分は、県が負担)			地元	5,000千円	
杵島南部地区	暗渠排水整備	33ha(全体1,603ha)																												
事業費	負担金																													
40,000千円	9,000千円	町	4,000千円	(町負担分は、県が負担)																										
		地元	5,000千円																											
3 予算額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">報償費(地域水田農業再編緊急整備事業推進協議会)</td> <td style="width: 20%;">3,000×37名×1回</td> <td style="width: 20%;">111千円</td> </tr> <tr> <td>県営地域水田農業再編緊急整備事業負担金</td> <td></td> <td>9,000千円</td> </tr> <tr> <td>事務費(消耗品費)</td> <td></td> <td>11千円</td> </tr> </table>										報償費(地域水田農業再編緊急整備事業推進協議会)	3,000×37名×1回	111千円	県営地域水田農業再編緊急整備事業負担金		9,000千円	事務費(消耗品費)		11千円											
報償費(地域水田農業再編緊急整備事業推進協議会)	3,000×37名×1回	111千円																												
県営地域水田農業再編緊急整備事業負担金		9,000千円																												
事務費(消耗品費)		11千円																												
4 事業の効果	<p>暗渠排水施設整備によって、水田の排水不良が解消され担い手への農地の集積と連担性が高められ地域水田農業ビジョンの目標達成が図られる。</p> <p>受益農地面積1,160ha、受益戸数1,308戸</p>																													

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	6	項	1	目	7	細事業名	農地・水保全管理支払交付金事業・共同活動支援事業			所属	農村整備課	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
目 の 予 算 額	470,163					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・118	
予 算 額	38,673						701			37,972	継 続	
	前年度当初	38,673	前年度最終	38,593								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興				
1 目的	近年、農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていること、ゆとりや安らぎといった国民の価値観の変化への対応が必要なこと、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められています。このようなことから地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動について支援します。											
2 事業内容	地域ぐるみで共同の活動組織をつくり、事業計画を策定して、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農道・農業用水等の保全向上に関する効果の高い共同活動の取り組みについて支援を行う。											
	農地・水保全管理支払交付金事業共同活動支援事業補助金 負担割合:国50%県25%町25%											
	支援単価 基本 水田4,400円/10a											
	支援単価	対象農地面積	事業費	町負担								
	田 4,400円	3,450ha	151,800,000円	37,950,000円								
3 予算額	農地・水・環境保全向上対策共同活動支援事業補助金 37,950千円											
	事務費 723千円											
	特別旅費(農地・水 研修会) 100千円											
	消耗品費 200千円											
	燃料費 100千円											
	光熱水費 323千円											
	農地・水 県推進交付金 (701千円)											
	町費 22千円											
4 事業の効果	農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。											
	受益農地面積 3,450ha											

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円												
款	6	項	1	目	7	細事業名	農地・水保全管理支払交付金事業・向上活動支援事業			所属	農村整備課								
目 名 称	農地費					財 源 内 訳				予算書頁									
目 の 予 算 額	470,163						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118							
予 算 額	12,122									12,122	継 続								
	前年度当初	0			前年度最終	12,128													
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興									
<p>1 目的</p> <p>これまで取り組んできた、農地・農業水等を保全管理する活動や、農村環境の向上のための活動に加え、老朽化が進む農地周りの水路、農道等の長寿命化のための補修・更新等を行う集落に対し追加的に支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>水路の整備、更新 ・ 農道のコンクリート、アスファルト舗装 ・ ゲート、ポンプの整備、更新 土側溝のコンクリート側溝への更新 ・ ため池のゲート、バルブの更新等</p> <p>農地・水保全管理支払交付金事業向上活動支援事業補助金 負担割合:国50%県25%町25%</p> <p>支援単価 基本 水田4,400円/10a</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援単価</th> <th>対象農地面積</th> <th>事業費</th> <th>町負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田 4,400円</td> <td>1,102ha</td> <td>48,488,000円</td> <td>12,122,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 予算額</p> <p>農地・水保全管理支払交付金事業向上活動支援事業補助金 12,122千円</p> <p>4 事業の効果</p> <p>農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。 受益農地面積 1,102ha</p>												支援単価	対象農地面積	事業費	町負担	田 4,400円	1,102ha	48,488,000円	12,122,000円
支援単価	対象農地面積	事業費	町負担																
田 4,400円	1,102ha	48,488,000円	12,122,000円																

区分		平成24年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	8	細事業名	農道維持費			所属	農村整備課	
目 名 称		農道費				財 源 内 訳					予算書頁	
目の予算額		11,735				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118・119	
予 算 額		11,735								11,735	継 続	
		前年度当初	3,894	前年度最終	2,694							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
1 目的												
<p>農道については、供用開始から年月が経過し、社会情勢、生活環境の変化などで農作業用道路としての機能のみならず、現在では主要な生活道路となっている。農道の機能を充分発揮させるよう路面の整備及び安全施設等の管理を行い農業の振興と農村の環境を保持する。</p>												
2 事業内容												
<p>町内の農道について適切な維持管理によって耐用年数を確保し、又、路面、安全施設等を良好な状態に保持する。(傷んだ舗装路面、路肩等の補修及び砂利道で歪んだ凹凸部分に砂利散布、不陸整正し良好な状態を保持する。)</p>												
3 予算額												
農道保険料						21千円						
農道補修機械借上料						110千円						
農道補修材料費						124千円						
工事請負費 (農道補修 1,300・堤防開削 9,600)						10,900千円						
事務費(需用費) (消耗品費 20・修繕料 560)						580千円						
合 計						11,735千円						
4 事業の効果												
<p>農道を適切に維持管理し、農道の機能を十分に発揮させることにより、農業の振興と農村環境の保全が図られる。</p>												

単位：千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	6	項	3	目	3	細事業名	新有明漁港整備事業			所属	農村整備課
目 名 称	漁港整備事業費										
目の予算額	427,680					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	427,680					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	126
						210,500	105,250	100,000		11,930	継 続
前年度当初		404,669		前年度最終		509,179					

白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 5 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

資源管理型漁業・つくり育てる漁業等への支援、安全で快適な漁業地域の形成を図るため、漁業施設の集約化や経営の協業化等の漁業情勢に対応でき、安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業・海洋性レクリエーションなど総合的に配慮した「白石地域水産業の拠点」としての漁港整備を行う。

防波堤を備えた道路として抜本的改良を行うことにより、漁港機能の保全及び漁業活動の安全確保を図るとともに、港外からの泥土の流入を防ぐ防波堤の効果により只江川河口部の閉塞を防ぐ導流堤としての役割を有し、只江川流域の水害時の安全確保を図る。

2 事業内容

区 分	全 体 計 画	事業完了見込分
総 事 業 費	5,000,000千円	4,467,500千円
事 業 年 度	平成14～28年度	平成14～23年度
外郭施設(防波堤)	874m	694m
係留施設(物揚場)	460m	460m
係留施設(斜路棧橋)	90m	90m
係留施設(浮棧橋)	460m	460m
水域施設(泊地浚渫)	36,000㎡ (55,600㎡)	27,000㎡ (31,058㎡)
輸送施設(道路)	2,610m	2,388m
輸送施設(駐車場)	150m	—
用地(漁具保管等)	55,360㎡	55,360㎡

【平成24年度事業】

- 事業内容 ①既設棧橋改良(防波堤・道路・駐車場) [東側 L=90m]
堤体・基礎杭・床版製作・既設棧橋取壊し・基礎杭打設・上部工
床版据付・RC棧橋工・物揚棧橋取付・護岸工・附帯施設工
- ②輸送用道路改築・橋梁工

●総事業費 421,000千円 [国 50%・県 25%・町 25%]

■歳入

- ①漁港整備事業補助金(国庫) 210,500千円
421,000千円×50%
- ②漁港整備事業補助金(県費) 105,250千円
421,000千円×25%

3 予算額

- 旅 費： 関係機関協議・技術研修等 316千円
- 需用費： 消耗品費・燃料費・印刷製本費 1,308千円
- 役務費： 通信運搬費(情報提供料) 11千円
- 使用料及び賃借料： 事務機器・公用車リース料等 1,045千円
- 工事請負費： 既設棧橋改良・輸送用道路改築等 425,000千円

4 事業の効果

安全で快適な漁業地域の形成及び漁業経営の向上

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円				
款	8	項	6	目	1	細事業名	住宅リフォーム緊急助成事業			所属	土木管理課	
目 名 称	住宅総務費											
目の 予 算 額	34,932					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	34,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	139・140	
	前年度当初	0	前年度最終	23,270			34,800			0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

地域経済の活性化と既存住宅の性能向上を支援するため、耐震改修やエコハウス化、ユニバーサルデザイン化などの住宅リフォーム工事に対して助成を行う。

2 事業内容

持ち家のリフォームに対して

基本助成

工事費の15%
最大20万円



加算助成

住宅性能向上工事の内容に応じて項目ごとに定額加算
最大20万円

基本助成、加算助成あわせて最大40万円を補助

※ 対象工事の例

外壁の塗替え、屋根のふき替え、畳替え、
トイレ・風呂・台所等の水廻りの改修、
手すりの設置、玄関スロープの設置、増築など

3 予算額

節	予算額	内 容
11 需用費	720	消耗品費(トナー、コピー用紙等)
13 委託料	480	工事確認委託料 3,000円×160件=480千円
19 負担金補助 及び交付金	33,600	住宅リフォーム緊急助成事業補助金 210千円/件当×160件=33,600千円
計	34,800	

4 事業の効果

エコハウス、UD化などのリフォームを促進することにより、住宅性能及び住環境の向上が図られ、また、地域の工務店などの仕事を増やし、地域経済の活性・循環が図られる。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	8	項	6	目	3	細事業名	町営住宅建設事業				所属	土木管理課
目 名 称	住宅建設事業											
目の 予算額	428,381					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	428,381					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	141	
	前年度当初	46,745	前年度最終	27,263	192,285			200,000	36,096	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の建て替えを行い、町営住宅の適正な管理を図る。
 なお、旧福富庁舎跡地を建設用地とするため、建替対象住宅は、耐用年数が経過している住宅の中で、福富地域内の栄町住宅と寿町住宅を対象とする。

2 事業内容

町営住宅新築工事 木造平屋2LDK 8棟16戸 木造2階3LDK 4棟8戸
 屋外工事 駐車場、児童遊園、排水溝
 上下水道工事、植栽工事等

3 予算額

節	予算額	内容説明	
11需用費	50	事務用消耗品代	50,000円
12役務費	275	水道検査手数料 11,000円×25件分	275,000円
13委託料	12,100	町営住宅建設工事監理業務委託等	9,000,000円
		町営住宅建設に伴う確定測量業務委託等	1,600,000円
		町営住宅解体工事設計業務委託	1,500,000円
15工事請負費	394,200	町営住宅新築工事 (住宅本体工事、屋外工事等)	394,200,000円
19負担金補助及び交付金	21,756	水道工事費負担金	7,000,000円
		下水道工事費負担金	14,000,000円
		ケーブルワン加入負担金 31,500円×24戸=756,000円	756,000円
合計	428,381		

4 事業の効果

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の建て替えを行い、入居者の利便性の向上と町営住宅の適正な管理運営が図られる。

単位:千円

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計							
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費			所属	建設課
目 名 称	道路新設改良費										
目の予算額	601,566					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	152,592					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134・135
	前年度当初	149,960	前年度最終	142,631			137,000		15,592	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

町道の総延長は約420kmあり、高齢化社会の到来による交通体系の変化や、近年のモータリゼーションの進展や営農体系の変化で車両や農業機械が大型化し、道路構造が対応できない状況です。これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路計画との整合性を取りながら、年次施工することによりゆとりある生活基盤の整備と効率的な生産基盤の整備を図ります。

2 事業内容

平成17年1月1日に、新しい「白石町」が誕生し、旧町間を結ぶ路線や公共施設を結ぶ路線を整備する必要があり、合併支援道路を選定し、23年度から過疎債を活用し整備を進めるとともに合併支援道路を補佐する路線を整備し、地域の生活基盤の充実を図る。

3 予算額

路線名 (計画延長、計画幅員)	本年度	事業内容	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	計	備 考
町道白石1号線 L= 650m W=7.0m	L=190m	現道拡幅	19,000		1,000	1,500	21,500	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石2号線 L= 850m W=7.0m	L=160m	現道拡幅	19,000		50	1,300	20,350	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石3号線 L= 730m W=7.0m	L=200m	現道拡幅	15,000			1,800	16,800	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石7号線 L= 880m W=8.0m	L=220m	歩道設置	18,000		900	200	19,100	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石13号線 L=1061m W=6.5m	L=200m	現道拡幅	18,000		1,600	500	20,100	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石15号線 L= 560m W=7.0m	函渠布設替	現道拡幅	4,000	7,000		1,000	12,000	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道神辺線 L=1150m W=7.0m	L=350m	現道拡幅	36,500		400	2,500	39,400	過疎債対象道路
町道下区中央線 L= 35m W=5.0m	L=35m	歩道設置	1,000		1,100	500	2,600	
過疎債対象道路 計			129,500	7,000	3,950	8,800	149,250	
消耗品費							50	契約用印紙代
役務費							10	返信用切手、印鑑証明書手数料
使用料及び賃借料							582	積算システムリース料
原材料費							100	仕切弁嵩上用枠等
合 計			130,500	7,000	5,050	9,300	152,592	

4 事業の効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	平成24年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	8	項	2	目	2	細事業名	社会資本整備総合交付金事業(その1)			所属	建設課
目 名 称	道路新設改良費						財 源 内 訳				
目 の 予 算 額	601,566					予 算 書 頁					
予 算 額	382,048					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134・135
	前年度当初	133,895	前年度最終	81,175	226,800		101,000		54,248	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

1 目的

これらの路線は、町の中心部あるいは、小学、中学及び高校のスクールズゾーンで主要な道路となっている。。いずれの路線も道路が狭小で歩道は無く路肩を通っている状況。新しく歩道を設置することにより、児童・生徒をはじめとする道路利用者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図りたい。

2 事業内容

- ①町道秀村線 改良・舗装・補償 L=150m W=12.5m(継続) 国道207号～町道北川廿治線
当路線は、町道横手・福田線と国道207号を結ぶ幹線道路であり、新庁舎、白石中央公園多目的広場へ通じる道路である。しかしながら、当路線には歩道が僅かしか無く、特に起点の国道207号「役場入口交差点」から当路線には歩道は無い。交差点にあるAコープの来客、白石共立病院の通院があり、院外薬局も2店舗ある。役場の来客と相まって歩行者、二輪車及び自動車が輻輳して、非常に危険な状態になっており、早急な歩道、車道の整備が必要である。
- ②町道北川廿治線 改良・舗装・補償 L=400m W=10.25m(継続) 県道武雄福富線～町道秀村線
当路線は、町道秀村線と県道武雄福富線を結ぶ道路として既存農道を拡張し、未接続部分を県道へ接続し整備するもので、新庁舎、白石中央公園多目的広場へ通じる道路として、町道認定し幹線道路として整備するものである。町道を整備し、歩道を設置する事により道路利用者の安全を確保し、人に優しい交通環境の整備に資するもの。
- ③町道中郷揚田線 改良・舗装・補償 L=108m W=9.5m(継続) 県道武雄福富線～県道武雄白石線
当路線は、主要地方道武雄福富線と一般県道武雄白石線を結ぶ網代地区内の幹線道路であり、北側に位置する小学校、当路線沿い及び南東に位置する高校への通学路でもある。通学児童・生徒と自動車が輻輳し非常に危険な状況となっているため、早急な歩道の整備・車道の整備が必要である。
- ④町道六府方南方線(2期) 改良・舗装・補償 L=400m W=9.25m(継続) 国道444号～町道海岸南北産業線
当路線は、六府方区及び東六府方区と国道444号を結ぶ幹線道路であり、国道西側にある小学校への通学路であり全体の3分の2が通学していて、歩道がないため非常に危険な状況となっているため、早急な歩道の整備・車道の整備が必要である。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	8	項	2	目	2	細事業名	社会資本整備総合交付金事業(その2)		所属	建設課	
目 名 称	道路新設改良費										
目の予算額	601,566					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	382,048					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134・135
	本年度当初	133,895	前年度最終	81,175		226,800		101,000		54,248	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

3 予算額

(単位:千円)

路線名	総延長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	計
町道秀村線 W=10.25m(一部12.5m)	L=680m	L=150 m	74,100		13,900	50,000	138,000
町道北川甘治線 W=10.25m	L=500m	L=400m	99,000	7,000	13,000	15,000	134,000
町道中郷場田線 W=9.5m	L=400m	L=108 m	26,000			3,000	29,000
町道六府方南方線(2期) W=9.25m	L=650m	L=400 m	58,900		4,000	17,100	80,000
計	L=2,200m	L=888m	258,000	7,000	30,900	85,100	381,000

※ 別途需用費、役務費を予算計上

4 事業の効果

当該路線の福富地域及び白石高校付近は、学校のスクールゾーンとなっている。国の事業を使って歩道を設置することにより児童生徒の安全が確保される。
庁舎及び白石中央公園(多目的広場)へのアクセスについては、国道207号及び主要地方道路武雄福富線への町道の拡幅整備を行う事により町民の利便性が向上する。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	10	項	1	目	3	細事業名	新学習指導移行措置事業費				所属	学校教育課
目 名 称	教育振興費						財 源 内 訳				予算書頁	
目 の 予 算 額	61,552					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	151・152	
予 算 額	3,533					1,100				2,433	継 続	
	前年度当初	6,118	前年度最終	6,118								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
<p>1 目的 新学習指導要領が、平成23年度から小学校、平成24年度から中学校で完全実施される。 そして、学習指導要領の大幅な改訂に伴い、新しい教科書が発行される。そのため、各学校における条件整備などの支援を行い、新学習指導要領の円滑な実施を図る。</p> <p>2 事業内容 ・新教育課程に対応したデジタル教科書とデジタル掛図の導入 ① 24年度は、中学校国語と英語のデジタル教科書をすべての中学校に配置する。 ② 25年度は、小学校の理科、社会のデジタル掛図をすべての小学校に配置予定 ③ 26年度は、中学校の理科、社会のデジタル掛図をすべての中学校に配置予定 ④ 27年度は、各学校の実態(特色)に応じたデジタル教科書及びデジタル掛図を配置予定 ・算数・数学及び理科の授業時間の増加に伴う新教育課程に対応した教材の購入</p> <p>3 予算額 11 需用費 1,333千円 消耗品費(デジタル教材購入費) 国語 79,800円(定価)×1教科×3学年×3中学校分= 718,200円 英語 68,250円(定価)×1教科×3学年×3中学校分= 614,250円 計 1,332,450円 18 備品購入費 2,200千円 教材備品(理科、算数・数学) 200,000円×11校=2,200,000円 ※国庫補助(補助率1/2)</p> <p>4 事業の効果 ・紙の教科書ではできない機能によって、生徒の意識をデジタル教科書に集中させることができる。つまり、児童生徒の興味を引き、分かりやすく、インパクトのある授業ができる。 さらに、児童生徒にとって分かりやすい授業の積み重ねが学力向上につながる。</p>												